

日美三二通信

【今月のメイン記事】

- 好評! ワインボトル型パンフ。
- 冷蔵庫で眠るモノ…。
- 戦争×デザイン展を見学。

【今月のツイ〜と】

今年も豊作
実りの秋!!



展示会パンフレット
好評事例!!

ワインボトル型パンフレットで お客様を「おもてなし!」

株式会社ウイルテック様より、「バーカウンターをイメージした展示会のブースで使用する、ワインボトル型のパンフレットを作成したいのですが…」とご相談を頂きました。

展示会は「第7回 医療機器 開発・製造展」という展示会で、少し硬い雰囲気なのでリラックスして話ができる空間、また数あるブースのなかでも目立つようにバーカウンターをイメージしたブースとなったそうです。

型抜きした印刷物を作るのが初めてで「どのように進めていけばいいですか?」「金額はどのくらいですか?」などの質問にお答えしながら一緒に進めていきました。

全7種類のワインボトル型パンフレットには事業紹介、悩み解決事例などの情報が載っています。ブースを訪れたお

客様のお悩みによって使い分けをしていくそうです。両面に情報があり、ワインボトルのかたちがお洒落で捨てずに取っておきたくなります。



▲印象に残るワインボトル型の会社案内

ブースではワインの代わりにぶどうジュースが配られたそうです。かなり好評で来場者も多く展示会初日に、特急で増刷のご依頼をいただき、最終日の朝会場到着でお届けしました。

お客様からは「おかげさまで予想をはるかに上回る人々がブースを訪れてくれていました。ご協力いただき感謝いた

します。」とお言葉を頂きました。

ブースを訪れた方が、ふとパンフレットを見返した時に、すぐ思い出すことが出来、そこから新しお取引が始まるお手伝いができたなら嬉しく思います。



◀りんごジュースとセットで配られました。

ブースの様子▶



株式会社ウイルテック様は、「産業用オートメーションシステム」の開発、設計など“モノづくり”におけるトータルサービスの提供を実現されている、実績ある会社様です。

HPはこちらからご覧いただけます。↓
<http://www.willtec.jp>

お客様サポート部 宮澤



… 弊社の冷蔵庫で眠る大切なモノ …

冷蔵庫の中身といえば、大概是「食料品」と決まっていますが時には思わぬモノが入っている事もあります。

弊社の冷蔵庫にも、印刷では無くてもならない大切なモノが眠っています。それは「UVインキの缶(もちろん中身入)。一番下の段をほぼ占領し、金色の缶が保存されています。

油性インキに比べ「UVインキ」は光に弱い(紫外線で硬化するため)のですが、温度にも敏感で、夏に高温環境下で保存

しておくと硬化する場合があります。

特に金、銀の「UVインキ」は熱に弱く注意が必要です。保存の推奨温度は25℃以下なので、常に低温状態の冷蔵庫の出番となりました。

金銀を使った印刷となると、クリエイティブプリント課のスタッフが食堂に向き冷蔵庫からインキを出していきます。

この他にも印刷資材には取扱い注意の資材があります。資材の正しい取扱いは

印刷の品質向上や、環境への配慮ともなるのでこれからも確り守っていきます。



▲冷蔵庫の中で温度管理されているUVインキ缶

クリエイティブプリント課 竹元

戦争を知らない私が体験した

戦争×デザイン展

先月号の「お出かけ情報」でも告知させて頂き、9月2～4日ギャラリー花蔵にて開催されました「戦争×デザイン展」に行き参りました。私自身、戦争を体験してない身ですので非常に興味深い展示会でした。

時代背景が濃く反映されたデザインの数々。中でも印象に残ったものは、兵士募集のポスターや女性誌です。

ポスターの色使いは印象的で、戦時の薄暗さを感じる薄茶色や、日の丸の赤を連想させるような赤使いが多いように見受けられました。

デザインも強烈でした。訴えるように戦争を推し進めようとする力強さを感じます。その力強さに、ドキドキしてしまいます。

女性誌は、戦前前は艶やかな女性の

表紙でしたが、戦時中は働く女性の姿に変化していきます。強く美しい女性の姿は素敵です！

現代では生み出すことの出来ない戦時のデザインに、強烈に引き込まれてしまいました。

展示も工夫されていて、当時の雰囲気が伝わってきました。



県内デザイナー様方の対談もとても面白いものでした。開催日にも意味があるそうで、太平洋戦争終結に合わせたそうです。

戦時背景や平和のありがたさをデザインの視点で体験出来て、とても勉強になりました。

来年の開催も今から期待しています。

クリエイティブプリント課 利根川

近頃のnichibi

第2回 長野ADC展を見学

先日、社員全員でホクト文化ホールで行われましたADC(長野アートディレクターズクラブ)展を見学させていただきました。

長野で活躍されているクリエイターの方々の一年間で制作した作品が一挙に集まり、見所満載でした。精緻な印刷技術から特殊加工が施されたものなど様々な作品の数々に沢山お勉強もさせて頂きました。

と、同時に日々のお仕事がお客様の作品づくりのお手伝いをさせて頂いているのだと改めて実感致しました。



◀今年は会場も広くゆっくりと見学できました。

お客様サポート部 込山

ちよつと...お出かけ情報

第二回 北信焼物展

窯達の饗宴

窯の中で生命を得た美しく雄渾なる焼物達。千変万化なる陶芸の世界が今ここに。

2016年 10月18日(火)～10月30日(日)

開館時間／9時～16時30分(最終日のみ15時終了)※休館日／10月24日(月)

観覧料／一般：200円

高校生：100円

※中学生以下無料

主催／千曲市教育委員会

千曲市 アートまちかど

長野県千曲市屋代2176-2

TEL/FAX(026)272-4152

外で見かけたこれはなんだ...!?

今月の WANTED



「歴戦のキズあり」と入っています。

真田丸で盛り上がる上田のリサイクルショップで見かけたPOPです。古い兎の置物に、よくある「キズあり」や「難あり」では無く「歴戦のキズあり」としていました。

歴戦の...といわれると、なんだか戦国時代の合戦にでも使われていそうな気がします。

スタッフから 今月の一言

デザイン&プロセス課 石澤



朝の出勤中、車を運転しているとフロントガラス付近で車中を飛び回る一匹の虫が。

前を向いて運転すれば視界に入る虫に、虫が苦手な私は顔面蒼白...!しばらくすると助手席側の窓へ移動した虫に、「今だ!」と窓を全開にしましたが、何故か窓辺に留まってしまいました。

内心悲鳴をあげながら運転していると赤信号で車が止まり、ティッシュで軽く払うと無事に飛び立っていきました。

いつもは煩わしい信号が、救いの信号となった朝でした。

編集 後記



夫婦でドライブに出かけ「何処か寄りた所ある?」と妻に聞くと「産直、地元スーパー、道の駅」と答えが返ってきます。

「その土地ならではの珍しい物(食材)が置いてある」という理由の様です。時には立ち寄り先が、全てその3箇所ということもありました。どうやら妻には名所・旧跡よりもずっと魅力の観光先の様です。

今月もお読みいただき、ありがとうございました。

デザイン&プロセス課 田中

株式会社日美印刷

〒381-0026 長野県長野市松岡2-6-36

☎026-222-6900/FAX026-222-6903

E-mail: info@nichibi-p.com

Web: www.nichibi-p.com

ブログも毎週更新中・<http://ameblo.jp/nichibi-p/>



◆日美ミニ通信は人に優しいUD書体を使用しています。